

## 令和元年度第2回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年8月28日(水) 午前10時30分～11時50分
- 2 開催場所 北杜市役所西館2階会議室
- 3 出席委員 山田輝夫、馬場君忠、三井一男、小澤一、三井麻里子、  
小林昭治、五十嵐咲子、小川節子、林義夫、浅川幸彦
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 小澤章夫政策秘書部長、  
広聴広報担当 坂口美穂、浅川蓮、幡野祐也
- 6 会議録署名 三井一男、小澤一
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 なし
- 9 内容
  - (1) 開会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 議事

議事 1 情報発信に係る取り組みについて「広報ほくと」

委員 広報については、病院などシリーズ化されていることにより、市立病院の良さを知ることができた。

委員 これだけの情報を集めるには相当な努力がいると思う。これだけの量を編集するのは大変なので、よくやっていると思う。

委員 広報ほくとの編集については、何人でやっているのか。

事務局 各課に配置している魅力発信委員から、記事を上げてもらい、編集については、政策秘書課の職員一人でやっている。

委員 印刷のコストはどれくらいか。業者は市内の業者を使っているか。

事務局 毎年、市内の業者 3 社で入札を行っている。昨年度と比較すると、配送の方法が変わったので、その分のコストが上乘せになっている。

委員 基本は、何ページでどれくらいか。

事務局 基本は 32 ページで、印刷費は約 110 万円である。

委員 いろいろなシリーズで企画を載せているが、特に反響の大きかったシリーズや分野はあるか。

事務局 特に把握できていない。広報の内容については、声を集めるのが難しいので、市民アンケートやインフォメールなどを使って、広報への意見を寄せていただくよう工夫していきたい。

委員 以前は、広報を綴じる表紙を各家庭に配布してくれていた。これがあると、きちんと綴じてあるので、後から見返すことができる。今は、眺めた後束ねておくものがないので、他の印刷物に紛れてしまう。広報を大事に活用していただくためにも、表紙の配布をお願いしたい。

事務局 広報保存のための表紙の配布については、来年度予算で検討していきたい。

委員 参考までに、広報の印刷代はページ数によって変わるのかどうか教えてください。

事務局 基本は 32 ページで、ページ数が多くなれば印刷代が増え、ページ数が少なくなれば印刷代は少なくなる。18700 部印刷する場合に、1 ページ増えると約 4 万円くらい印刷費が増える。

委員 病院のシリーズについて、どんな症状があるところな病気の可能性がありますよというような内容があれば、みんなが関心を持てるのではないかと思う。

事務局 インフルエンザなど、時期にあった話題を取り上げるようにしている。産婦人科は今年から診療科ができたので、掲載をさせていただいた。

議事 2 情報発信に係る取り組みについて「北杜市ホームページ」

委員 時代が SNS の時代になっているので、SNS での情報発信は必要だと思います。年配の人たちは、これまで文書で来ていたものが、インターネットを使ってみてくださいという形になると、どうすればいいかと戸惑うが、ほとんどの人がスマホを持っている時代になると、当然のことになるのだと思う。

委員 市が SNS をやるのならば、「いいね」を 300 位もらうことを目標にするべきだと思う。そうしないと意味がない。ふるさと親善大使にも協力していただくということだが、それらの人に発信力があるとは限らないので、注意が必要である。例えば、市内にはランナーなどで、もっと情報発信力を持っている人がいるので活用すべきではないか。

事務局 今後、ふるさと親善大使として、スポーツの分野で活躍する人、例えば登山やランナーや BMX にも声をかけていきたいと考えている。

委員 行政は、SNS の情報発信にうといと思うので、どのようなニーズがどこにあるかを、経験者や情報を持っている人に教わりながら進めていくのがいいと思う。

委員 インスタグラムの運営について、親善大使にも協力をお願いしたいということだが、その人達に北杜の良さを発信してもらおうということか。

事務局 親善大使が北杜市に来た時に北杜で撮った写真などを、北杜市の SNS で発信する方法を検討したい。

委員 甲斐駒の素晴らしい夕日などを投稿すればいいのか。

事務局 委員の方々にも、ぜひご協力をお願いしたい。

委員 フェイスブックに関しては、市からの情報発信という形をとるといふことなので、投稿するのは魅力発信委員のみとなるか。

事務局 フェイスブックとツイッターについては、行政から発信する形をとるが、インスタグラムについては、行政からの一方的な発信ではなく、市民の方や北杜市に関わりのある方、観光客など、いろいろな方にご参加いただく方法を検討したい。

委員 運用が問題になると思うが、誰が写真を撮り、誰が掲載し、誰が更新するのか。

事務局 政策秘書課で運用する。

委員 時代は SNS の時代になっていると思うので、多くの方にいい写真を上げていただいて、多くの方に北杜の魅力を届けてほしいと思う。運用に関しては、責任の所在を明らかにしておかなければいけないので、セキュリティポリシーなどできちんと定めてやっていってほしい。いつ頃の開設を目指しているか。

事務局 10月を目途に進めていきたい。

委員 SNSでの発信は必要だと思うが、なぜ若者のフェイスブック利用者は減ってきているのか、理由がわかれば教えてほしい。

委員 フェイスブックはお互いのやり取りが発生するので、それを面倒に感じている若者が離れているのではないかと考える。

委員 フェイスブックの場合には、登録をしていなくても、インターネットの検索で「北杜市」と調べると、フェイスブックの内容も閲覧することができるので、あってもいいのかと思う。しかし、情報は定期的に更新されなければ見られなくなってしまう。いくらフォロワーが増えても、情報が更新されるのが週1回と更新頻度が低いと、見る人が離れてしまう。やるのであれば、皆の目に留まるようにしないとやる意味がなくなってしまう。

委員 週3回程度は、情報発信した方が良い。またある程度、話題性のある記事を載せていかないといけないと思う。SNSが連動するような形で、情報発信をしてほしい。

事務局 人気のある他自治体なども参考にさせていただき、進めていきたい。

委員 今、週3回程度は、できればもっと発信した方がいいという話が出たが、人的な配置はどうなっているか。北杜市の公式SNSとしてやるには

それなりに手がかかるのではないかとという点で、心配している。

事務局 政策秘書課の現在の人員で対応するので、工夫しながらやっていきたい。

委員 大変だとは思いますが、必要なことなのでやっていってほしい。

### 議事3 情報発信に係る取り組みについて「週刊ほくとニュース」

委員 今後の放送予定など、編成表は作っているか。それをここに出すことはできないか。

事務局 編成表は、4週先まで作っている。次回からは、資料とさせていただきます。

委員 今後の方向性がわからないと意見しにくいので、次回からは今後の取り組みについて示してほしい。

委員 ケーブルテレビを見ることができる世帯は、どれくらいあるか。

事務局 市内では、15000世帯が契約している。民間の事業者番組放送を委託しているため、県内の他地域でもケーブルテレビが入っている世帯では「週刊ほくとニュース」を見ることができる。

委員 ケーブルテレビを見ることができる世帯でも、見ているかどうかはわからない。

事務局 土日は4回、平日は2回放送している。今年度から始めた市民レポータ

一は、本人の家族や知り合いが出ていると、週刊ほくとニュースを見るきっかけになると考えて企画した。知っている人が出ると、見てくださる方は増えると考えている。

委員 知っている人が番組に出ているということで、見る人は増えると思う。自分の関心のあるものがなければ、あえて見ようとはしない。次回のケーブルテレビには、このようなものが流れますよという情報がないと、見る気にはならない。何が放送されるかを知らせるのが大事なのではないかと。ぜひ検討してほしい。

委員 番組表は出ているか。

事務局 ホームページではお知らせしている。

委員 広報に1か月分を載せたらどうか。

事務局 番組内容は直前まで入れ替えがあるので、放送内容をお知らせするのは難しい。広報については、前月の下旬に原稿を締め切らないと印刷が間に合わないなどの事情もある。

委員 主な話題だけでも載せたらどうか

事務局 方法については検討したい。

委員 市政施行15周年記念として、「飛び出せ！市長と未来を語る会」をやっていると思う。その他に11月に向けて特集や市長インタビューをやると



事務局 | いう話があったと思うが、どうなっているか。  
11月1日の市政祭に合わせて準備したい。

以上